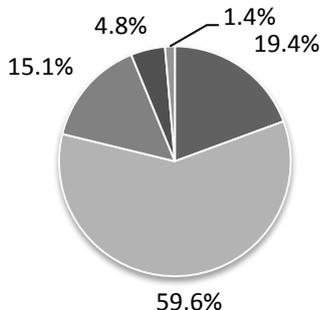




学校評価アンケート《保護者アンケート》結果&コメントの続き ※グラフはHPにも掲載中

10. 子どもは、学習内容がわかり、基礎的な学力が身についている

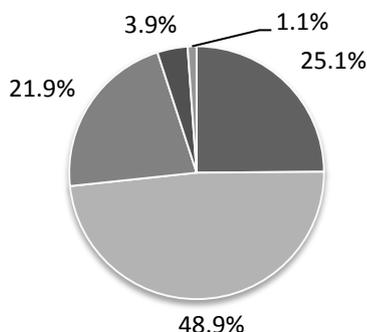


- 1. とてもそう思う
- 2. まあそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. 思わない
- 5. わからない

10. 子どもは、学習内容がわかり、基礎的な学力が身についている

ここでの学力とは基礎的基本的な事項で、昔から言われている『読み・書き・そろばん(計算)』のことである。それぞれの習得には当然個人差があり、学校はその対応を求められている。補充的な学習(「補充」⇒足りないことを補うこと)はもちろんのこと、時と場合によっては発展的な学習も必要とされているのである。わかりやすく言うと、跳び箱や水泳をするときに、一人一人のめあてに応じた活動することがあり、そんな学習を国語や算数でも取り入れていくという考え方である。4~6年の保護者の方ならお分かりだと思うが、県や国の学力調査の問題は、基礎が身についた前提で解けるものであって、正に「学問に王道なし」(学問をするのに安易な方法はない)と言えよう。

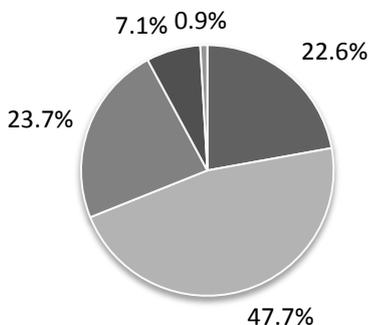
11. 子どもは、学校での出来事をよく話す



- 1. とてもそう思う
- 2. まあそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. 思わない
- 5. わからない

11. 子どもは、学校での出来事をよく話す
学校であったことを自分の子供からでなく、他から聞くことはよくある話である。クラスでのエピソードならいざ知らず、自分の子供に起こった出来事を他から聞くこともあるかもしれない。ともすると、子供が話し終わらないうちにあれこれ口をはさんだり指図したりしてしまうこともあるが、子供は何も解決や指示を望んでおらず、ただ聞いてほしいだけの時もある。大人は自分にとって必要な情報だけでなく、無駄と思える話にも耳を傾けることも必要かもしれない。そして余裕がなければ、仕事をしながら背中の子供の話を聞くこともあっていいのではないかと考えている。

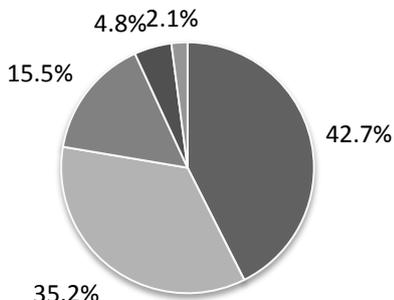
12. 子どもは、家族や近所の人など、誰にでもあいさつができる



- 1. とてもそう思う
- 2. まあそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. 思わない
- 5. わからない

12. 子どもは、家族や近所の人など、誰にでもあいさつができる
家訓(家に伝わる教え)というほどのものではないが、近所の方へのあいさつをきちんと教える家もあり、要はその家庭のポリシーや家族の社交性が関係してくると思う。もちろん子供本人の発達や性格にもよるが、その意味では「思わない」方に回答した保護者の方の意識は高いとも言える。

13. 子どもは、給食の時間を楽しみにしている



- 1. とてもそう思う
- 2. まあそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. 思わない
- 5. わからない

13. 子どもは、給食の時間を楽しみにしている
医療の根本的な方針が治療から予防に変わったと聞いたことがあるが、医食同源(日頃からバランスの取れた美味しい食事をとることで病気を予防し、治療しようとする考え方)という言葉があるように、「食」は重要であることは言うまでもない。偏食(好き嫌いのこと。当然食物アレルギーは別)や孤食(一人ぼっちで食べること)、欠食(食事を抜くこと)という問題が、子供が小さい頃から心配される昨今、学校給食の目的や役割も近い将来変わってくるかもしれない。

1. 去年との比較 — 思う方(「とてもそう思う」と「まあそう思う」)の割合をくらべて—

2017年度⇒2017年11月実施／2018年度⇒2019年1月実施

【 児 童 】

項 目	2017年度	2018年度	結果
1. わたしは学校がたのしい	94.4 %	92.6 %	-1.8 ポイント
2. わたしは友だちとなかよくしている	95 %	96.9 %	1.9 ポイント
3. わたしは毎日のべんきょうがわかる	84.1 %	81.8 %	-2.3 ポイント
4. わたしはだれにでも気持ちのよいあいさつができる	78.5 %	77.9 %	-0.6 ポイント
5. わたしはそうじをいっしょうけんめいしている	89.5 %	89.5 %	0.0 ポイント
6. わたしは命の大切さや社会のきまりについて学んでいる	92 %	95.2 %	3.2 ポイント
7. わたしはかぞくに学校でのできごとをよく話す	74.9 %	72.4 %	-2.5 ポイント
8. わたしは給食の時間がたのしみだ	85.7 %	89.3 %	3.6 ポイント
9. わたしの学校は美しくととのっていてすごしやすい	72.4 %	76.6 %	4.2 ポイント

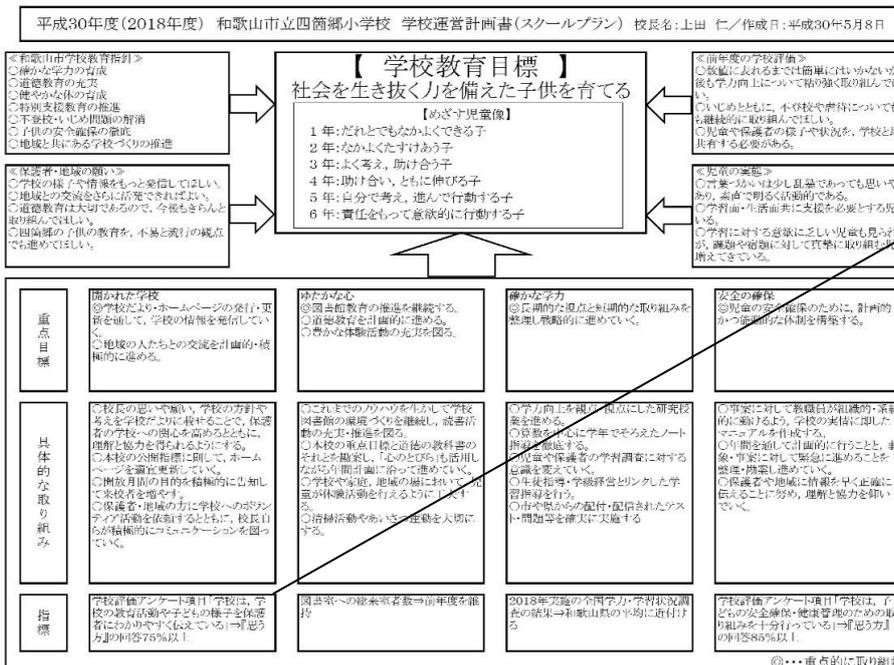
【 保 護 者 】

項 目	2017年度	2018年度	結果
1. 学校は、学校の教育活動や子どもの様子を保護者にわかりやすく伝えている	70.4 %	80.6 %	10.2 ポイント
2. 学校は、子どもにわかりやすい授業を工夫している	76.8 %	76 %	-0.8 ポイント
3. 学校は、子どもの安全確保・健康管理のための取り組みを十分行っている	82.4 %	85.2 %	2.8 ポイント
4. 学校は、いじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいる	57.8 %	65 %	7.2 ポイント
5. 子ども一人一人が大切にされ、認められる学校になっている	69.7 %	71.7 %	2.0 ポイント
6. 学校は、子どもに生命を大切にす心や、社会のルールを守る態度を教育している	74.2 %	78.3 %	4.1 ポイント
7. 家庭・地域と小学校は、それぞれの役割を果たし、連携・協力をしている	75.7 %	79.9 %	4.2 ポイント
8. 学校施設は、教育的配慮がなされ、美しく使いやすい	56.8 %	69.2 %	12.4 ポイント
9. 子どもは、毎日楽しそうに小学校へ通っている	90.9 %	91.1 %	0.2 ポイント
10. 子どもは、学習内容がわかり、基礎的な学力が身につけている	80.9 %	79 %	-1.9 ポイント
11. 子どもは、学校での出来事をよく話す	69.7 %	74 %	4.3 ポイント
12. 子どもは、家族や近所の人など、誰にでもあいさつができる	67.3 %	70.3 %	3.0 ポイント
13. 子どもは、給食の時間を楽しみにしている	78.1 %	77.9 %	-0.2 ポイント

保護者アンケート回収率…2017年度⇒93.5%／2018年度⇒95.2%

2. 学校運営計画書(スクールプラン)について

学校運営計画書(スクールプラン)の指標で、学校評価アンケートと関連した内容



学校評価アンケート項目「1. 学校は、学校の教育活動や子どもの様子を保護者にわかりやすく伝えている」⇒『思う方』の回答75%以上
・結果…80.6%

学校評価アンケート項目「3. 学校は、子どもの安全確保・健康管理のための取り組みを十分行っている」⇒『思う方』の回答85%以上
・結果…85.2%

◎…重点的に取り組むこと